



目次

- 教育長あいさつ…P1
- 教育委員コラム…P2
- 「マイスクール西大井」の新設…P2
- 品川コミュニティ・スクール DAY…P3
- スクール・サポート・スタッフと副校長補佐の1日をご紹介します…P3
- 発達障害教育支援員の配置を拡充します…P3
- 歴史的資料を「しながわデジタルアーカイブ」にて公開中…P4
- 東海道品川宿石積護岸 区指定文化財に…P4
- 旧品川警察署品川橋交通待機所 国登録文化財に…P4
- 83運動にご協力ください…P4
- 学校改築を推進しています…P5
- ～放課後の居場所～すまいるスクール…P5
- 児童・生徒教育長表彰式…P6
- 全国大会出場助成…P6
- 教育長杯 各スポーツ大会の結果…P6

この幼児教育の講演で得た「学びへの視点」は、学校教育にも通じる

「遊んで学ぶスウェーデンのプリスクールが未来にどう貢献できるか。」5年前になりましたが、スウェーデン大使館で行われた幼児教育・保育の世界的研究者の方の講演テーマです。幼児教育の担当をしていた縁で、ヨーテボリ大学の幼児教育と保育の研究者でOECDなどの調査研究実績がある教育学部の教授のセミナーに参加する機会をいただきました。

ここで改めて学んだことは、「子どもの遊びは学びであり、遊びながら学んでいくことを大切に。そのためには、子どもに応じた様々な場面が必要であり、子どもの視点を大切にする」とであったと記憶しています。また、「コミュニケーションがなくては、質の高い学びにはならない」との言葉も強く印象に残っています。

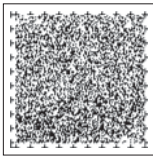
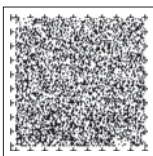
と考えています。一人ひとりの児童・生徒の可能性を引き出す学びをどのように実践していくか、教育実践の場はもちろん、教育委員会として常に考え続けなければならないと思います。

誰一人取り残さず、全ての人々の可能性を引き出す共生社会を実現するため、「人と社会のウェルビーイング」、すなわち、「一人ひとりが生涯にわたって身体的・精神的・社会的に良い状態である」とともに、地域や社会全体が豊かさを感じられることが重視されています。教育においても、一人ひとりの子どもの「ウェルビーイング」を獲得するためにも、教員や地域社会の「ウェルビーイング」も高めていかななくてはなりません。これからも、相互に多様性を認め合い、他者を大切にできる教育環境の整備に努めるとともに、多様な子どもたちの可能性を引き出すことのできる品川の教育を進めていきたいと考えております。

一人ひとりの可能性を引き出す教育を



品川区教育委員会
教育長 伊崎 みゆき



教育委員
コラム

失敗「できる」 子どもの強さ



品川区教育委員会
教育委員 稲垣 百合恵

「子どもに成功してほしい」と、私も含めて多くの親は願っています。でも、「失敗しないでほしい」とは、どうか思わないでほしいのです。

子どもにとって、失敗は経験でありチャンスです。色々なことを試して失敗できるのは子どもの特権。挑戦をして失敗をし、「どうして失敗した?」「どうすればうまくいった?」と試行錯誤することが、学び

子どもが迷ったときは、選択肢を広げたりアドバイスをしたりと、どうかフォローはしてあげてください。ですが、最終決定は必ず子ども自身にゆだねます。大人と考え方や結論が違うのは当然なのです。

最終的に子どもの人生の責任を取るの本人です。「自分で選んできた」と思える子と、「親に言われてこうなった」と思う子。どちらが前向きに自分の人生を切り拓いていけるでしょうか。

自分で選べば当然、失敗もたくさんします。そんなときは、「だから言ったじゃない」をぐっとこらえて、親の責任として全力でフォローしましょう。失敗を乗り越えるほど、「自分は失敗しても大丈夫」と思えるようになりやすくなります。それが、困難に挑戦していく強さ、挫折から立ち上がる力を与えてくれるはずです。

大人の社会は「結果」が全てかもしれません。ですが、子ども時代に大きな失敗をしたとしても、一度で人生がダメになったりはしません。無謀であっても挑戦して、その過程で何を学んだかこそが、人生の糧になっていくのです。どんな結果であっても、そこまでの努力や「挑戦したという事実」は間違いなく彼らの人生にとって大切な経験になっているはずなのです。結果よりも、その「過程」をぜひ豊かなものにしてあげたいですね。

転びそうになる子どもにも思わず手

を差し伸べてしまう。親の本能でもありますが、永遠に自分の手で守れるわけではありません。ならば、転んだときにどうやって立ち上げれば

「マイスクール西大井」の新設

品川区では品川区立学校に在籍し、主に心理的要因で不登校になっている児童、生徒が通う教室「マイスクール」を八潮・五反田・浜川に設置しています。この度、区内4か所目となる「マイスクール西大井」を開設します。

マイスクールには、元校長や教職経験者、教員免許を持つ指導員や心理職員が児童・生徒一人ひとりにわかりながら、学習や体験的な活動の場を提供し、社会的な自立ができるように在籍校等と協力しながら支援を行います。

いいのかわからないためにはどうするかを、彼ら自身が考えられるように育てることが、親の役目ではないかと思うのです。

マイスクールの見学・入室に関する手続きは、在籍校を通して行います。見学や入室を希望する場合は、在籍校へ事前に御相談ください。

●開設予定日

令和6年5月

●開設予定地

西大井4-1-8

(旧大井第三地域センター)



品川コミュニティ・スクールDAY

校区教育協働委員会に児童・生徒が参加する「品川コミュニティ・スクールDAY」を各校で開催しました。令和5年4月に施行された「子ども基本法」の理念を踏まえ、子どもたちの声を聴く機会をつくるため「より良い学校にしていくなために」などのテーマで、委員や地域住民、保護者、児童・生徒、教職員が熟議（熟慮と議論）を行い、今後の地域と学校の在り方を検討しました。

参加した委員は、子どもたちが自分の言葉でしっかりと意見を伝えていたことや真剣に取り組む姿勢など、普段の授業では見られない児童・生徒の姿を見ることができたという肯定的な意見が多くありました。また、参加した子どもたちからは、「委員の方々の意見を聞き、自分の考えをより深めることができました。」「私たちの知らないところで、より良い学校にするために、話し合いが行われていることが分かった。」「私たちの意見が、これからの学校生活に生かされるとよいと思った。」などの声

がありました。今後、児童・生徒の声をはじめとする多様な意見を生かしながら、品川コミュニティ・スクールを推進してまいります。



スクール・サポート・スタッフと副校長補佐の1日を紹介します

働き方改革を進めるため、スクール・サポート・スタッフ(以下SSS)や副校長補佐を学校へ配置し、教員や副校長の業務を支援しています。

SSSの1日は、職員室にある依頼ボックスの依頼表を確認することから始まります。(品川学園の場合)各学校により運用が異なります。)依頼内容は、授業で使用する教材の印刷・配布、ポスター・チラシ等の掲示、学校公開や行事の準備・当日受付作業等、これまでは担任が業務時間終了後に行っていた事務作業をSSSが代わりに行います。

一方、副校長補佐は、職員の勤怠の確認・電話対応・来校者や来賓への郵送物の作成・お便りの編集確認等、これまでは副校長が担っていた業務を一部負担しています。どちらの職種も教員や副校長の業務をサポートすることで、事務負担の軽減・教員の在校時間の縮減へとつながる重要なお仕事です。今後は全校への人員配置を目標とし、多くの学校で教員の負担軽減ができるよう努めていきます。



SSS・副校長補佐の勤務の様子(品川学園)

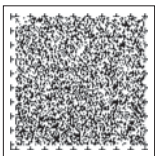
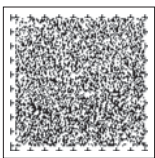
発達障害教育支援員の配置を拡充します

令和4年度からモデル実施してきた発達障害教育支援員ですが、令和

6年度より小学校・義務教育学校前期課程で全校配置する予定です。

発達障害教育支援員は、発達障害等(自閉症、情緒障害、学習障害および注意欠陥多動性障害)のある子どもが安心して円滑に学級での学校生活を過ごすことができるように、必要な支援を行います。

毎日1名が配置され、学級担任をはじめ、訪問指導教員等と共有した情報を基に、一人ひとりの子どもの状況に応じて寄り添った支援を行います。特別支援教室(訪問指導教員が各学校を巡回して、通常の学級に在籍する発達障害等のある児童・生徒を指導する教室)を利用して子どもは、在籍学級でも支援を受けることで、学校での集団生活が過しやすいくなり、特別支援教室での指導の成果を日常的に発揮しやすくなります。



歴史的資料を「しながわデジタルアーカイブ」にて公開中

品川区立図書館では、令和5年3月より品川区の基礎的資料を「しながわデジタルアーカイブ」としてホームページで公開しています。

「品川区史」をはじめとした貴重な歴史資料や、品川区で収集・所蔵している写真、地図や古文書など紙媒体の地域資料は経年劣化が進んでおり、保存のためデジタル化し、ホームページで公開することとしました。これにより劣化対策のため館内における閲覧のみに制限をしていた資料についても、利活用が進むものと考えております。

品川区は、日本考古学発祥の地といわれる大森貝塚や東海道の第一宿場として栄えた品川宿など、原始・古代から現代に至るまで、品川の貴重な資料を多数所蔵しています。「しながわデジタルアーカイブ」では、今後も新たな資料の公開を進めるとともに、品川区の歴史・文化について広く親しみを感じてもらえるよう努めてまいります。

東海道品川宿石積護岸区指定文化財に

東海道品川宿石積護岸が令和5年3月29日に区指定史跡として指定されました。

この護岸は、江戸時代に品川宿の東海道を波の浸食から護るために築造されたもので、現在にいたるまで破損と修繕を繰り返しながら使用されてきたものと考えられます。

こうした護岸は、すでに大部分が開発等で消失しており、当時の土木技術を窺うことのできる希少な事例です。

旧品川警察署品川橋交通待機所 国登録文化財に

旧品川警察署品川橋交通待機所が令和5年8月7日に国登録有形文化財（建造物）に登録されました。

この建物は、地域住民が中心となり、昭和4年に品川警察署品川橋巡查派出所として建てられたもので、現在は、南品川櫻河岸（さくらがし）まちなか観光案内所として活用されています。

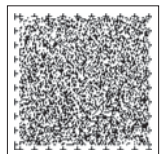
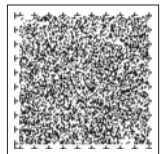


戦前の交番建物は都内での残存事例が少なく、昭和初期の品川宿の景観を現在に伝えるものとしても貴重な歴史的建造物です。



83運動にご協力ください

83運動は、「小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、なるべく外の用事を行いながら子どもを見守る」という見守り活動で、今では全国に広がっています。



第46回わんぱく相撲品川区大会

「勇気」「礼節」「感謝」
心いっしょにわんぱく相撲

THE WANPAKU

<主催>
わんぱく相撲品川区大会実行委員会
<お問い合わせ先> わんぱく相撲品川区大会実行委員会事務局
担当 谷 田 浩 二 郎 TEL: 080-9784-7743
Email: shinagawajc@gmail.com

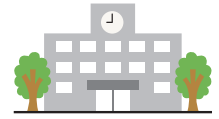
開催概要

日程
2024年5月12日(日)

参加資格
品川区内在住または在学の小学生
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申し込みください

会場
品川区立日野学園(地下2階 体育館)

住所
品川区東五反田2丁目11-1



学校改築を推進しています

区では、学校施設の老朽化や就学人口の急増などに対応するため、計画的に学校施設の改築工事を進め、教育環境の改善に努めています。

第四日野小学校 校舎棟完成

令和3年7月に改築工事に着手し、約25カ月の工事期間を経て、令和5年7月に校舎棟（1期）が竣工しました。



木材を多く使用した中央階段

新校舎は多様な学習形態に対応できる環境を整備し、また国産の木材を活用した温かみのある空間とすることで、子どもたちや地域に親しまれる学校づくりを行っています。

浜川中学校 体育館棟完成

令和4年7月に改築工事に着手し、約18カ月の工事期間を経て、令和5年12月に体育館棟（1期）が竣工しました。



安全性の高いスポーツ用床シートを採用したアリーナ

体育館棟では、アリーナ、武道場兼小体育館、多目的ホール等の複数の大空間を整備することで、多様な運動や学習活動が展開できます。

現在、進行中の改築工事

学校名	工事の進捗状況等	
浜川小学校	令和2年8月 改築工事開始	同6年3月 校舎竣工予定
第四日野小学校	令和3年7月 改築工事開始	同7年7月 校舎竣工予定
浜川中学校	令和4年8月 改築工事開始	同8年7月 校舎竣工予定
城南第二小学校	令和5年8月 改築工事開始	同9年9月 校舎竣工予定
源氏前小学校	令和6年夏頃 改築工事開始予定	同11年春頃 校舎竣工予定

このほか、鈴ヶ森小学校では現在、改築工事に向けて基本設計を策定しています。

工事期間中は、児童・生徒・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

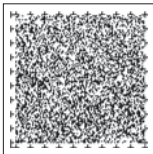
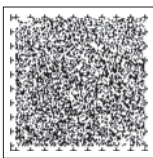
放課後の居場所 すまいるスクール

すまいるスクールは、学校施設を活用した子どもたちの放課後の居場所です。小学生を対象に、学びと遊びを通して子どもたちの成長を育むことを目的としています。

学級や学年を超えて共に遊び、運動するなど児童が自由に過ごす「フリータイム」、学校の宿題等を自主的に取り組む「学習タイム」を設けているほか、地域ボランティアなどが講師を務める将棋・野球などの「教室」を実施しており、すまいるスクールでの様々な体験を通して地域の方々と交流を深めています。



▶利用するには毎年登録が必要です。詳しくは区HPをご覧ください。



令和5年度 品川区児童・生徒教育長表彰

～推薦基準～

- 1 地道な活動を継続的にを行い、他の児童・生徒等の範となる個人・グループ
- 2 当該児童・生徒等が自ら学び考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の児童生徒等の具体的な行動や取組に良い影響を与えた個人・グループ
- 3 人命救助やこれに類する行為をして警察署・消防署等の公的な機関の長から表彰された個人・グループ
- 4 その他、SDGsの趣旨を踏まえたボランティア活動、リサイクル活動等を積極的に継続するなど、他の児童・生徒の模範となる活動を行い、表彰に値すると認められる個人・グループ

区教育委員会では、昨年度から左記のとおりスポーツや文化活動の成果に加え、児童・生徒が日常からひたむきに取り組む活動にスポットを当てて表彰しています。これにより児童・生徒の新たな一面を発見でき、自己有用感もこれまで以上に高まることを期待しています。

表彰式は3月13日に開催する予定です。

【推薦基準1】個人

山中小 木下 稀結
第二延山小 上野 瑛史
荏原第五中 浅井 咲智子
日野学園 水内 南菜

【推薦基準4】グループ

浅間台小 NEWSAMADA
台場小 ダンスクラブ
京陽小 MY COLOR
大崎中 レインボー29
八潮学園 UNITYK
ミニボンパ隊
児童生徒会
日野学園 児童生徒会
(敬称略)

全国大会出場助成

品川区を代表して全国大会に出場する少年少女に対して、出場に係る負担の軽減と、競技力等の向上を図り、少年少女の文化・スポーツ活動を推進することを目的とし、全国大

会出場助成を行っています。令和5年度の受付期間は、大会出場後30日以内・3月29日(金)までです。助成の対象となる大会や、対象者、助成額などの詳細については、区ホームページをご確認ください。

区HPへのリンク



令和5年度教育長杯

例年、仲間づくりを通じて児童・生徒の身体的・精神的な健全育成を図ることを目的とし、少年少女スポーツ団体と品川区の共催事業として、教育長杯スポーツ大会を実施しています。令和5年度の結果は次のとおりです。(バスケットボールは、2月下旬実施のため、結果はホームページ等でお知らせします。)

★少年野球大会 (4～5月実施)

- 優勝…富士見台中学クラブ
 - 準優勝…立会キングス
 - 第3位…品川オールスターズ
- 西大井・倉田野球クラブ



★少年少女サッカー大会 (5～6月実施)

- 優勝…FC PGS
 - 準優勝…品川SJC
 - 第3位…nexo tokyo
- f c U-12

★バレーボール大会 (12月実施)

- 優勝…立会アタッカーズ(男子A)
 - 準優勝…立会アタッカーズ(男子B)
 - 第3位…立会アタッカーズ
- V・B・C(女子)

